

形成外科研修プログラム（初期研修用）

◇ 当科の概略

大阪労災病院形成外科は、成人および小児形成外科疾患を対象とした幅広い診療をおこなっており、指導スタッフは充実しており、専門医育成のために十分な経験を提供しうる。

◇ 当科で扱う領域

- ・皮膚良性腫瘍、母斑、血管腫、皮膚悪性腫瘍の外科的治療
- ・顔面骨骨折の観血的治療
- ・先天性および後天性眼瞼下垂症、睫毛内反症、眼瞼内反症、眼瞼外反症などに対する眼瞼形成手術
- ・下肢静脈瘤に対するストリッピング手術や血管内焼灼術
- ・乳癌術後の乳房再建（自家組織移植・シリコンインプラントによる再建）
- ・頭頸部癌切除後のマイクロサージャリーによる再建手術や、その他各種癌切除後欠損・外傷後欠損の再建手術
- ・顔面神経麻痺の外科的治療（眉毛・眼瞼・口角下垂の矯正や、神経移植による機能回復手術）
- ・各種先天異常の治療（埋没耳などの耳介先天異常、多合指趾、臍突出など）
- ・熱傷および熱傷瘢痕の治療
- ・その他外傷後や手術後の瘢痕、ケロイドの治療
- ・陥入爪・巻き爪に対する手術治療
- ・外傷性・難治性皮膚欠損に対する再建手術
- ・褥瘡、難治性潰瘍に対する創傷治療

◇ その他

形成外科領域の基本的知識と、一般創傷に対する基本的対応能力の修得およびそれらの応用能力の獲得を目指す。また患者－医師、医師－医師、パラメディカル－医師のそれぞれの良好な関係を構築でき、優れたチーム医療を主宰できるような全人的な教育を行う。

◇ 指導責任者

中川 達裕

◇ 研修内容（方略）

研修は以下の一覧を目安として修練する。

(基本方針)

- ・ 外来の診療補助として、形成外科の基本的診察法・創傷処置を学ぶ。
- ・ 病棟患者受持医として病棟業務に従事する。
- ・ 創傷に対する基本的な臨床対応能力を習得する。
- ・ 手術助手として手術に参加し、形成外科の基本的手技・縫合法などを習得する。

(目標とする手技)

- ・ 簡単な皮膚良性腫瘍の切除術
- ・ 小範囲の植皮術・局所皮弁形成術
- ・ 熱傷、難治性潰瘍、褥瘡などの創傷処置

(助手としての手術参加)

- ・ 皮膚良性悪性腫瘍の手術
- ・ 基本的な有茎皮弁・筋皮弁の挙上手術
- ・ 顔面の瘢痕拘縮形成術・局所皮弁形成術
- ・ 顔面骨骨折の整復固定術
- ・ 眼瞼下垂の修正手術
- ・ 腋臭症手術
- ・ 熱傷・難治性潰瘍・褥創の手術
- ・ 各種先天異常の手術
- ・ 下肢静脈瘤手術（ストリッピング、血管内焼灼術）
- ・ 頭頸部再建手術
- ・ 乳房再建手術

◇ 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	外来・手術	外来	外来・手術	外来・手術	外来・手術
午後	手術	外来 回診 症例検討会	外来	手術	手術

◇ 評価方法

- (1) 各研修医は研修到達度の自己評価を PG-EPOC に入力する。
- (2) 研修指導医は研修期間終了時に、研修医の研修到達度を評価する